

学校教育目標

よく考えて実行する杉本小の子
健康でたくましい杉本小の子
思いやりのある杉本小の子



海老名市立杉本小学校



学 校 便 り

令和8年1月26日
校長 奥泉 憲

参観あり がとうござ います

先週の「学校へ行こう週間」では、たくさんの保護者の皆様のご来校、ありがとうございました。20日（火）には、5年生の総合的な学習（地域をより良くしていこう）で「杉本まつり」が、22日（木）には、2年生の生活科の学習で「まちのひみつ発表会」が開催されました。どちらにもたくさんの保護者の皆様が参観くださり、子どもたちもこれまで準備してきたものや学習の成果を張り切って発表していました。両日とも地域の皆様にもお声掛けをし、近隣の幼稚園や保育園の先生方も参観に来てくださいました。先生方は、卒園させてしまうとなかなか小学校での子どもたちの様子を見に行く機会がないので、今回、自分たちで発表の準備をしたり、当日の運営を担当したりして立派に成長した子どもたちの姿を見て、とてもびっくりされ、そしてすごく喜んでいらっしゃいました。久しぶりに園の先生方に会った時の嬉しそうな、そして少し恥ずかしそうな子どもたちの笑顔も素敵でした。これからも子どもたちの様々な発表の機会を通して、地域の皆さまたちとのこんな繋がりが広がっていくことを願っています。 学校長 奥泉 憲

あなたが 大切だよ

ある教育関連の雑誌を読んでいて、とても印象に残る記事を見つけました。1年生の国語の教科書にも載っている『ずーっと ずーっとだいすきだよ』（ハンス・ウィルヘルム作 評論社）というお話に関してのものです。これは、主人公の「ぼく」が年老いていく犬のエルフィーとの関わりから「いのち」について考える物語です。私も校長としての職業柄、これまで様々な機会で「いのち」の大切さを子どもたちに伝えてきました。でも、この記事の筆者は「いのちは大切だ」と何千回何万回言われるよりも「あなたが大切だよ」と一人ひとりに語りかける方が子どもたちの心に深く響くというのです。筆者はさらに言っています。「いのち」の尊さももちろんだが、大切な人に「だいすきだよ」という思いを“いま”伝えていくこと忘れてはいけません。

お知らせ です

令和8年度の「あゆみ」（通信票）についてお知らせいたします。次年度1学期の「あゆみ」（通信票）については、学習面や生活面の様子について所見欄への記載ではなく、これまでの2学期同様に1学期末に個別の教育相談を実施し、保護者の方と一緒にお子さまの成長について考えていく機会にしたいと考えております。それに伴い、保護者の皆さまには、小学校の方に面談にお越しいただくこととなりますが、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、この件については、海老名市立小学校全体での対応になるため、別途通知を配付いたします。